

## コリント人への手紙第一 第10章 13節

「あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを耐えられないほどの試練に合わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます。」

手術をひかえている方が、ここにある聖書の言葉を自分の言葉で言われた。普段の生活で聖書に触れる機会がまったく無いと思われる環境の方である。多分、普通学していたミッション・スクールで聞いた言葉ではないかと推測する。治療の説明や、備えがこれから行われる日に待機している。初めての体験にこころ穏やかではない。その折に浮かんだ聖書の言葉である。

迫る手術日、それを待つ間につのる不安。そのとき、自分のうちに、外からの言葉が届く。聖書の言葉である。幾世紀ものあいだ人々を励まし、支えている言葉がある。この言葉を残した当の本人も体験した、実証済の言葉である。いつの時代の者たち、どのような状況に置かれても通用する言葉である。

試練はある。試練は、先にすでに経験されているものである。試練に遭っている者だけに特有なものではない。誰かが遭った試練である。脱出の道がある経験をした者が残した言葉である。試練に脱出の道が備えられている宣言が自分の外から聞こえる。

2024年6月15日